

学生自治会要望への回答（中百舌鳥キャンパス）

回答課 教育推進課

<要望>

1 大学の授業に関して、次の内容を実施すること。

I. オンライン授業において、授業と呼べないような内容の授業が存在するためそういったものを失くし、授業内容のクオリティの向上を図ること。

<回答>

回 答 欄

ご意見ありがとうございます。

ご要望をいただきました点については、昨年度に実施しましたオンライン授業に関するアンケート結果や授業振り返りの自由記述欄においても、「資料のみ上がっている授業は、内容を理解しにくい」という改善要望をいただいております。

これを受けまして、2022年度は全学的に遠隔授業の方針を策定し、教員に周知しまして、遠隔授業の質担保に努めています。

この遠隔授業の方針においては、上述の改善要望を踏まえ、以下の通り定めています。

非同期型のうち、「スライド・テキスト等の講義資料提示」手法については、感染症や災害の発生等の非常時における特例的な措置で行われる遠隔授業の場合に限り認めることとする。
但し、教育効果に鑑み、本手法の適用は可能な限り避けるものとする。

上述の通り、本方針において非同期型のうち「スライド・テキスト等の講義資料提示」手法を非常時に限り特例的な措置として限定的に認めておりますが、基本的には事前に準備をして避けることとしています。また、遠隔授業についての様々な要望は大学としても把握しており、学習成果の質保証の観点から提出物へのフィードバックを行う等、学生とのコミュニケーションの確保を行うように周知しています。

遠隔授業については、繰り返し分からなかった箇所を見直せる等、対面授業よりも好ましいという意見も多数寄せられているので、学生にとって最善の授業方法の提供について今後も検討していきます。

II. 実習など対面授業ではないと学習が難しい授業がオンラインで行われ、一方向で行われる座学の授業が対面で行われるなど、授業形態について疑問を感じる授業が存在するため、判断基準となる規定を見直しすること。

<回答>

回 答 欄

ご意見ありがとうございます。

2022年度前期授業は、依然として新型コロナウイルス感染症が終息しない状況を踏まえ、感染防止対策を徹底した上で授業区分や授業形態（講義・演習・実験・実習）に拘わらず、対面授業（半数回数以上の授業を対面で開催する混合授業を含む）を基本方針としています。これは、学生と大学との、また学生同士の結びつきの確保や教育効果の観点から定めたものです。

その中で、感染拡大防止対策の観点から、大規模授業（180名程度以上）や教室のキャパシティ上必要な授業、基礎疾患等を有する教員が担当する授業については、一部全回（定期試験は除く）を遠隔授業とするとともに、カリキュラム内容や授業の特性等に鑑み、遠隔授業の実施により、対面授業に比して高い教育効果が見込まれる場合等は、例外的に遠隔授業での対応を認めることとしています。

上述の方針に基づき、座学により行われる講義科目については、基本は対面授業での実施となります。

なお、昨年度に実施しましたオンライン授業に関するアンケート結果や授業振り返りの自由記述欄において、「動画や音声配信等の遠隔授業のコンテンツは復習等において非常に効果的である」という意見もいただいています。この状況等も踏まえ、あくまで対面授業実施を大前提としていますが、カリキュラムの改善等により、多様なメディアの利用が教育上で効果的な場合は、授業運営等に支障のない範囲で対面に軸を置くこととして、対面授業に一部遠隔手法を組み込むことを認めています。

また、実験・実習等についても上述の通り、対面での実施を基本方針としています。

しかしながら、一概に実験・実習といっても、カリキュラムによりその実施方法や内容は大きく異なります。実験室内で一定の距離が保てない場合、多くの発話を伴う場合等で、感染防止対策の観点から対面での実施が困難で、一部遠隔授業で代替できると判断した場合は、実験・実習においても遠隔授業を用いながら授業の実施方法を工夫する場合があります。

授業の観点だけでなく、学生同士・教員との学びあいや交流を含めた「学びの共同体」としての場を提供することが本学の責務の一つであることを踏まえ、授業形態に拘わらず遠隔手法を効果的に取り入れながら対面授業を基本としますが、その一方で、新型コロナウイルス感染症にかかる感染防止対策が必要な昨今の状況においては、やむを得ず一部対面での実施に制限が生じることもありますので、ご理解のほどお願いいたします。

学生自治会要望への回答（中百舌鳥キャンパス）

回答課 学生課

<要望>

2 新大学に関して、次の内容を実施すること。

I. 新大学へ移行しようとしている状況において、ポータルで通知があった情報が時間割の変更程度で詳しい情報があまり開示されていないため、情報をポータルなど使い、学生全体に細かな変更点などを通達すること。

<回答>

回 答 欄

在学生に対する新大学開学に関する情報開示が不足しており、ご不便おかけし申し訳ありません。

在学生を対象とした新大学開学に関する詳細情報の開示の必要性については認識しています。ポータルサイト上に各課より個別に情報開示されているものもありますが、他の情報に埋もれ確認しづらい状況になっているものと思われます。すでに提供されている情報の集約や不明な点は学生なんでも相談室を活用いただきながら、学生の皆さんに情報が行き届くように対応してまいります。

II. 学生が新大学移行にあたって知りたいことを聞ける場を整備し、学生の疑問を解決できる環境を整えること。

<回答>

回 答 欄

学生のあらゆる疑問や悩みなどを気軽に相談できる窓口として、学生なんでも相談室があり対面または Web から利用いただけます。普段の学生生活に関する質問・相談だけでなく新大学開学に関する質問・相談も各担当部署と連携し疑問解消できるよう対応いたしますのでぜひご利用ください。

学生自治会要望への回答（中百舌鳥キャンパス）

回答課 学生課

<要望>

3 食堂等の混雑による感染リスクが高まっているため、シュライクなどの学内設備を開放し、こういった混雑を少しでも減らし、感染リスクを下げること。

<回答>

回 答 欄
<p>中百舌鳥キャンパスの食堂では、昨年度より、対面飛沫防止用アクリル板を設置し、隣席を着席禁止としてきました。そのため、全座席およそ 700 席あるうち、稼働座席数はその半分の 350 席となっていました。</p> <p>今年度より、個別仕切りアクリル板を設置したことから、全座席が利用可能となりました。</p> <p>また、食堂の営業時間帯は、次のように変更しています。</p> <p>2022 年 4 月 7 日まで 11 : 30 ~ 14 : 15 2022 年 4 月 8 日から 11 : 00 ~ 15 : 00</p> <p>感染症対策を強化したことから、食堂の利用可能な席数の増加を図っています。これらの効果を検証しつつ、今後の対策について検討いたします。</p>

学生自治会要望への回答（中百舌鳥キャンパス）

回答課 学生課

<要望>

4 課外活動において、少人数であれば部室などの使用ができるように、制限を緩和すること。

<回答>

回 答 欄

課外活動に対する制限により満足に活動できない状況となっており、ご不便おかけし申し訳ありません。また活動制限へご理解、ご協力いただきありがとうございます。

これまで、新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑み、国や自治体、大学としての方針に基づき、学生みなさんに安全安心に活動していただけるように感染対策と両立できる方法を検討してきました。

引き続き、課外活動を最大限行うことができ、かつ最も感染リスクの下がる方法を検討いたします。